

こんなに大きくなりました！



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」より

R8.2 保育未来課 子育てコンシェルジュ



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、園修了時の具体的な姿を示すもので、到達すべき目標ではありません。また、すべての子どもに同じように見られる姿でもありません。



☆☆☆卒園間近なこの時期、5歳児の素敵な姿をたくさんお伝えいたしましょう！☆☆☆

①手洗いやうがいなどの基本的な生活習慣については、自分で意識してできるようになっている。

②遊びや活動の中で、自分なりの目的をもって、考えたり試したりしている。また、諦めずにやり遂げようとしている。

③運動会や生活発表会をとおして、友達と一緒に考えたり協力したり、役割分担したり工夫したりしながら活動する楽しさや大切さなどを知ってきている。

④トラブルが起きた時、できるだけ自分たちで考えたり解決したりするようになってきた。

⑤地域の人々と関わって活動する中で、親しみを感じたり感謝の気持ちをもったりしている。また、動植物の名前や特徴を図鑑で調べたり、友達に伝えたりしている。

⑥砂遊びや製作遊びなどで、友達と一緒に遊びに必要な物を考えたり、物の性質や仕組みなどに気付いたりしながら遊びを進めている。

⑦季節の草花や木の実を取入れてままごと遊びを楽しんだり、身近な生き物と関わる中で生命の大切さに気付いたりしている。

⑧遊びや生活の中で、数量や文字の役割に気付いたり、興味・関心をもって使ったりしている。

⑨遊びや活動の振り返りの場で、友達の話を注意して聞いたり、自分の思いや考えを伝えたりしている。

⑩運動会や生活発表会で、イメージを膨らませながら、体全体を使って表現したり、言葉で伝えたりしていた。

★5歳児の素敵な姿は、年長児参観(12月・1月にコンシェルジュが各園を訪問)

で、担任の先生が教えてくださった成長の姿で、これらを小学校教育へつなげていくことが大事です。